

# 令和5(2023)年度現代文化学部 卒業時アンケート調査集計結果 (報告)

I R 委員会  
I R 課

## I. 現代文化学部卒業時アンケート調査の概要

### 1. 目的

- 1) 学生自身が4年間の現代文化学部における学びを振り返り、現代文化学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。
- 2) 1)の結果に基づき、現代文化学部の継続的な教育改善に役立てる。

### 2. 実施

- 1) 対象：東京純心大学現代文化学部 令和5(2023)年度卒業生 25名
- 2) 時期：令和6(2024)年2月3日(土)
- 3) 配付・回収方法：令和6(2024)年2月5日の卒業論文・研究・制作発表会の全体説明にて配付、回答後回収
- 4) 回収状況：24名(2020年度入学生25名)回収率96%

### 3. 質問項目

- 1) DP(「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針」)の習得状況に関する自己評価
- 2) 現代文化学部の教育(講義・演習・実習・初年次教育)改善の必要性について
- 3) 現代文化学部の支援について
- 4) 学生の成長について
- 5) 現代文化学部の教育に対する満足の程度について

## II 調査結果

### 1. DP(ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針)の自己評価について

		① いる身について	② ある程度身についている	③ どちらともいえない	④ あまり身についていない	⑤ いない身について
DP1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	豊かな感性と教養 11 (46%)	13 (54%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	保育・教育の高度な知識と技術	6 (25%)	17 (71%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
	こどものからだ、こころ、あそびを理解して主体的に思考する力	9 (38%)	15 (63%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
DP2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	子どもの幸せと平和を願い求める力 16 (67%)	6 (25%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)
	地域の人々と痛みや喜びを分かち合う力	7 (29%)	16 (67%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
	創造的なコミュニケーション能力	10 (42%)	13 (54%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
DP3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	保育者としての高度な専門的な知識や技能 6 (25%)	18 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断する力	10 (42%)	12 (50%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)
	子どもの命を守り育てる力	11 (48%)	12 (52%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

☞ 全てのDPの資質・能力に関して、「①身についている」、「②ある程度身についている」と回答したものを合わせると90%以上となっている。

#### DP達成状況

		①身についている	②ある程度身についている	③どちらともいえない	④あまり身についていない	⑤身についていない
DP1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	26 (36%)	45 (63%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)
DP2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	33 (46%)	35 (49%)	4 (6%)	0 (0%)	0 (0%)
DP3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	27 (38%)	42 (59%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)

☞ 「①身についている」、「②ある程度身についている」と回答したものを合わせると、「DP1」が99%、「DP2」が94%、「DP3」が97%と、いずれも高い割合になっている。

#### 【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv. 0-4	学修評価 Lv. 1-4
DP1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	3.35	2.63
DP2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	3.40	2.91
DP3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	3.35	2.77

\*自己評価は「①身についている」を4点、「②ある程度身についている」を3点、「③どちらともいえない」を2点、「④あまり身についていない」を1点、「⑤身についていない」を0点として換算  
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価GPの平均

#### 2. 現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）改善の必要性について

		①改善の必要がある	②改善の必要はない	③どちらともいえない
1)	4年間の講義について	4 (18%)	15 (68%)	3 (14%)
2)	4年間の演習について	2 (8%)	20 (83%)	2 (8%)
3)	4年間の実習について	4 (17%)	17 (71%)	3 (13%)
4)	現代文化セミナーについて	1 (4%)	18 (75%)	5 (21%)

〔自由記述〕

(1) 4年間の講義について	<p><b>【①改善の必要がある】と回答した理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を購入したにも関わらず、毎回のプリントの使用で教科書を1度も使用しなかった講義がある。勿体ない。</li> <li>つまらん</li> <li>室内の温度管理が適切ではなかった。</li> </ul>
----------------	---

**【②改善の必要がない】と回答した理由**

- ・教科書を買ったのに使わない科目があった
- ・楽しく学べた
- ・満足でした
- ・シラバスに沿って行われていた為
- ・どの教科も学んで、自分なりの考えで高めることができるから改善の必要はありません。

**【③どちらともいえない】と回答した理由**

(2)4年間の演習について

**【①改善の必要がある】と回答した理由**

- ・具体性が欲しい

**【②改善の必要がない】と回答した理由**

- ・楽しかった
- ・満足でした
- ・学びとなったため
- ・実際に子どもと関わっていくと、どのように行動をうつすのかについて高めることができるため、学んでいくうえで改善の必要はありません。

**【③どちらともいえない】と回答した理由**

(3)4年間の実習について

**【①改善の必要がある】と回答した理由**

- ・実習指導の授業では手遊びや名札など実習に直接的に役立つ内容を取り入れてほしい
- ・柔軟に動いてほしい

**【②改善の必要がない】と回答した理由**

- ・真面目に取り組むことができた
- ・日誌が大変だった
- ・満足でした
- ・学びとなったため
- ・先生方の親身なサポートが有難かったです。
- ・観察実習と責任実習の2つがあり、1度目で学び伸ばした所を2度目でもう一度学び伸ばしたり、新しい面でも伸ばすことができるため、改善の必要はありません。

**【③どちらともいえない】と回答した理由**

- ・人によるかなと思う。

(4)現代文化セミナーについて

**【①改善の必要がある】と回答した理由**

**【②改善の必要がない】と回答した理由**

- ・満足でした
- ・学びとなったため
- ・2年次以降の練習にもなるため、改善の必要はありません。

**【③どちらともいえない】と回答した理由**

- ・良し悪しは特になかった
- ・おぼえてない

現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育（現代文化セミナー））の改善の必要性について、「②改善の必要がない」と回答した割合はいずれも概ね70%以上であり、「①改善の必要がある」と回答した割合は、講義、実習が20%弱、演習、初年次教育は10%以下である。

### 3. 現代文化学部の支援

		①とても充実していた	②充実していた	③どちらともいえない	④あまり充実していなかった	⑤充実していなかった
(1)	アドバイザーによるサポート・相談について	9 (43%)	11 (52%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	11 (52%)	5 (24%)	4 (19%)	1 (5%)	1 (5%)
(3)	卒業論文・研究・制作に対する支援について	14 (67%)	4 (19%)	3 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

〔自由記述〕（記述の後の丸数字は、回答番号）

#### (1) アドバイザーによるサポート・相談について

##### 【①とても充実していた】と回答した理由

- ・充実していた
- ・親身にサポートして下さり、とても支えになりました

##### 【②充実していた】と回答した理由

- ・話を聞いてくれた
- ・単位を落とすことなく卒業できたため
- ・相談にはのりやすかった
- ・学業についてしっかりどのように実行していくことができるかがとても良かったから充実していました。

##### 【③どちらともいえない】と回答した理由

##### 【④あまり充実していなかった】と回答した理由

##### 【⑤充実していなかった】と回答した理由

#### (2) 進路・就職に対するサポート・相談について

##### 【①とても充実していた】と回答した理由

- ・キャリアセンターで履歴書の対応や不安に対して親身になって対応してもらい心強かったため。
- ・よく話をきいてくれた
- ・親身になってきいてくれた
- ・充実していた
- ・面接練習のサポート等があり、安心して行われることができるため、とても充実していました。

##### 【②充実していた】と回答した理由

- ・個別に連絡を下さり手厚かった
- ・わからん

##### 【③どちらともいえない】と回答した理由

##### 【④あまり充実していなかった】と回答した理由

##### 【⑤充実していなかった】と回答した理由

(3) 卒業論文・研究・制作に対する支援について

【①とても充実していた】と回答した理由

- ・何度も助けられた
- ・充実していた
- ・スケジュールに沿って、細かく指導して頂きました。
- ・仕上げがどこまでできあがっているのかの確認を行ったり、卒業論文で直すべき文章を直し、社会に成り立つことを知ることにとても充実を感じました。

【②充実していた】と回答した理由

- ・制作の際、難しい作業が多くあったが、アドバイスをもらい、やりとげることができたため。
- ・丁寧に教えてくれた。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・しらん。

【④あまり充実していなかった】と回答した理由

【⑤充実していなかった】と回答した理由

☞ 「①とても充実していた」、「②充実していた」と回答したものを合わせると、「(1) アドバイザーによるサポート・相談」が95%、「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」が76%、「卒業論文・研究・制作に対する支援」が86%と、いずれも高い割合になっている。

4. 本学での学びや体験を通して、入学時と比べた成長の程度

	①とても成長した	②成長した	③どちらともいえない	④あまり成長しなかった	⑤成長しなかった
本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	8 (38%)	10 (48%)	2 (10%)	1 (5%)	0 (0%)

〔自由記述〕（記述の後の丸数字は、回答番号）

【①とても成長した】と回答した理由

- ・他人を思いやる力
- ・保育の知識が身についた。
- ・保育の知識について豊富になりました。

【②成長した】と回答した理由

- ・周囲と協力し、一つの事を成し遂げる事。保育に対しての知識
- ・保育に関する知識や経験を得られた
- ・落ち着きができた
- ・大学は自分自身で学びに行く場であると感じました
- ・今までは人に合せて同じことをすることが多かったが、現在では、自分の好みように行えることができることに成長しました。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・ふつう

【④あまり成長しなかった】と回答した理由

【⑤成長しなかった】と回答した理由

☞86%の学生が「①とても成長した」または「②成長した」と回答している。

5. 現代文化学部への教育に対する満足度

	①とても満足している	②満足している	③どちらともいえない	④あまり満足していない	⑤満足していない
現代文化学部の教育に満足しているか。	5 (24%)	12 (57%)	4 (19%)	0 (0%)	0 (0%)

〔自由記述〕（記述の後の丸数字は、回答番号）

**【①とても満足している】と回答した理由**

- ・教育の方針に従って授業を進行されている。

**【②満足している】と回答した理由**

- ・楽しかった
- ・楽しかったから
- ・保育者を目指すことができるように、しっかりと分かりやすく教育をしているのに満足しています。

**【③どちらともいえない】と回答した理由**

- ・ふつう

**【④あまり満足していない】と回答した理由**

**【⑤満足していない】と回答した理由**

⇒「①とても満足している」、「②満足している」と回答したものを合わせると81%と高い割合になっている。

6. 東京純心大学について、改善するともっと良くなると思うこと

〔自由記述〕

- ・こども文化学科を存続させられたら良かった。
- ・かんきょうせいびのじゅうじつさ
- ・事前連絡を早めをお願いします。